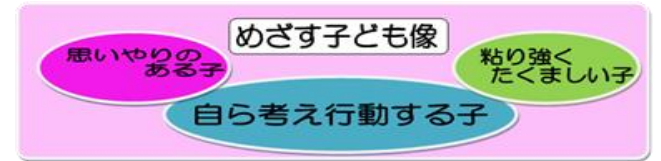




めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校
みんなが安心できる居心地のいい学校
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）



いつもここに (あ) (は) (た) (け) (あ) のびのび 野畑 合言葉 (ほ) バリアフリーで 笑顔がいっぱい (た) 体験 楽しい 学びたい (け) 計画立てて 相談 確認

このところ新型コロナウイルスの国内感染者数が増加しています。7月16日には、

新型コロナウイルスの国内感染者は16日全国で新たに622人が確認された。1日当たりの感染者が600人を超えたのは、最多の755人だったピーク時の4月11日以来で、過去3番目の多さ。東京都で過去最多の286人が確認されるなど、各地で緊急事態宣言解除後、最多の陽性者が判明しており、感染は全国で拡大しつつある。宮城県でも過去最多となる14人の新規感染者を確認。東北工業大の学生など二つのクラスター（感染者集団）が確認された。大阪府（66人）、埼玉県（49人）、神奈川県（47人）、千葉県（32人）、愛知県（21人）、兵庫県（17人）、京都府（13人）、香川県（10人）などが緊急事態宣言解除後、最多となった。吉村洋文大阪府知事は記者団の取材に「感染が拡大しつつある」と危機感を示した。（時事通信社の16日の記事より抜粋）

上記のような報道があり、豊中市のホームページをみると豊中在住の方にも感染者が出ているということで、保護者の皆様におかれましても「このまま学校に行かせて大丈夫だろうか？」と不安に思われている方が多いのではと推察しております。

学校でも、大阪モデルで黄色が点灯した時点で、改めて注意喚起を行い、児童の健康観察・手洗い・ソーシャルディスタンス・校舎の消毒などを徹底しているところです。

令和元年度（2019年度）豊中市エコチャレンジ制度 企画賞の受賞校に野畑小学校が選ばれました。

令和元年度は、エコチャレンジ制度の企画賞に、小中あわせて17校が応募し、審査の結果、6校が選ばれました。



野畑小学校 25点/32点

○活動概要○

給食の牛乳瓶のふたに付いているビニールゴミを小さく折りたたんで捨てることで排出ゴミ袋数の削減に取り組んだ。

審査委員のコメント



- ・ 環境を考えるきっかけとして、毎日の給食に着目した点が良い。
- ・ 給食委員会の子どもたちを中心とした折りたたみ方の指導や、ごみ量を削減できたクラスの発表を行うなど、学校全体で取り組んでいる。

数年前の給食委員会の子どもたちのアイデアで始まった「牛乳ビンのラベルクシャクシャ選手権」。給食委員会の子どもたちが各教室を回って、折り方を教え、いかに小さくまとめるかを競い、頑張ったクラスを表彰する。そんな子どもたち発信の取り組みが評価されたことをとてもうれしく思います。



だれでも出来て、楽しみながら、取り組むことができるからこそ、何年も続けてこれたのだと思います。

野畑小学校の最近の欠席や子どもたちの様子とお願い

「子どもから『今日は、高熱でクラスメイトが5人も休んでいた』』ということを知りましたが大丈夫なのか」というようなお問い合わせが保護者の皆様から何件もありました。たしかに、今週の月曜日に5人休んだクラスはありましたが、欠席理由は高熱ではなく様々で、次の日には登校してきています。今週もそうでしたが、月曜日は毎週欠席される方が多くなります。土日の間に体調をくずしたり生活リズムが崩れたり、理由は様々です。ちなみに、7月16日（木）の本校の欠席（自粛等の出席停止や家事都合含）総数は、10名でした。

毎朝、検温を忘れて登校してくる児童の検温及び健康観察を職員室前で行っているのですが、昨日は30人をこえました。また、睡眠不足や朝食を食べずに登校する児童も目立ちます。いちばんの感染予防は、「規則正しい生活と睡眠、食事で免疫力を高める」ことです。学校でも毎日のように言っていますが、ご家庭におきましても感染防止のために必要なことについて子どもたちと今一度、話し合っただければと思います。